

第 31 回

パチンコ景気動向指数 (DI)

調査結果

■ DI (Diffusion Index) とは？

パチンコ業界における景気動向を把握するため、平成 12 年 6 月より四半期 (3、6、9、12 月) ごと実施している調査。

本調査は、95 年より継続実施しているファン対象調査である「パチンコ参加実態調査」と同様に、株式会社エース電研グループの支援により、株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所が企画・実施いたしました。

■ 今回の調査について

1. 調査対象： A c l u b 会員 (エンタテインメントビジネス総合研究所の会員制情報提供サービス会員) ほか、全国の有力パチンコ店経営企業。
パチンコ・チェーンストア協会、日本遊技関連事業協会、日本遊技産業経営者同友会の調査協力を得て実施。
2. 実施時期： 2007 年 12 月 14 日～2007 年 12 月 25 日
3. 調査方法： F A X にて送付・回答
4. 回収状況： 有効回収数 69 社

2007 年 12 月



調査結果のポイント

■ 全般的概況はマイナス 31.8 と更に後退

現況(平成 19 年 12 月)の各社の業況判断DI値は、マイナス 31.8 と前回9月調査時のマイナス 24.6 から、7.2 ポイントの悪化となった。

見通し(3ヶ月後)については、マイナス 44.7 と先行きへの不安を尚残している。

<中小規模事業者で現況大きく、見通しは各規模で悪化>

小規模事業者でDI値マイナス 56.5 と前回から 13.6 ポイントの悪化。中規模事業者でDI値マイナス 47.1 と前回から 15.3 ポイントの悪化。大規模事業者はDI値 7.1 と前回から 15.1 ポイントの改善となっている。

見通し(3ヶ月後)では、大規模事業者(マイナス 14.3)、中規模事業者(マイナス 50.0)、小規模事業者(マイナス 73.9)と、各規模事業者ともに現況より悪い数値となっている。

■ パチンコ現況は 3 期連続の悪化、中、小事業規模で下げる

パチンコの稼動状況のDI値は、前回の 4.9 からマイナス 9.5 と 14.4 ポイントの悪化となった。見通し(3ヶ月後)では、マイナス 14.3 となっており、先行きへの不透明感を残している。

前9月期と比べると、小規模事業者は 26.6 ポイントの悪化、中規模事業者は 25.1 ポイントの悪化、大規模事業者は 12.6 ポイントの改善となっている。

先行き見通しについては、大規模事業者で悪化、中・小模事業者でやや改善となっている。

■ パチスロ現況は横ばいも、見通しには厳しさ

パチスロの稼動状況のDI値は、前回のマイナス 50.8 からマイナス 50.6 とほぼ横ばいになった。見通し(3ヶ月後)は、マイナス 62.4 と、さらに厳しいものとなっている。

前9月期と比べると、小規模事業者は 6.5 ポイントの悪化、中規模事業者は 8.3 ポイントの悪化、大規模事業者は 21.7 ポイントの改善となっている。

先行き見通しについては、各規模事業者ともに厳しい数値を予測。小規模事業者ではマイナス 73.9、中規模事業者ではマイナス 67.6、大規模事業者もマイナス 46.4 と厳しい見通しとなっている。

■ 業界の「底打ち」時期は「09 年以降」がトップ、時期特定できず「ある条件が整ったとき」が続く

ここ数年厳しい状況が続いているパチンコ業界の全般的な業況について、『底を打つ』のはいつ頃かを聞いた結果、全体では「09 年以降」が 27.9%で最も多くなっている

「底打ち」時期について、時期を特定せず、「ある条件が整ったとき」との回答が全体で 26.2%となっている。中・小規模事業者では、約3割が回答している。

具体的なコメントとしては、「実質遊技人口と遊技台のバランスが取れるとき。」、「パチスロ営業が回復するようなマシンの許可及び市場展開がされたとき。」、「人口減少社会を迎え、しばらくは厳しい」などが挙げられている。

景況キーワード

■ 厳しい環境下、「行政の規制」と「機械台の売り方」に改善期待

パチスロ5号機への移行によるパチスロ業況の悪化に加えて、パチンコにおいても入替え等で投資が嵩む厳しい状況。そうしたなか、『行政の規制緩和。能率性の高いパチスロ機の復活(期待薄なれど)。』や『高コスト体質(特に遊技機)の是正が重要。入替え台数を減らす。中古台の活用。』といった行政の規制緩和と遊技機の販売方法の是正を求める声が強くなっている。

■ 金融の引き締めで危機感も

『不調なパチスロから好調なパチンコへの営業設備の交換を図る。その為に金融機関の融資の緩和が必要。優良企業によるパチンコへの活発な設備投資がなされる金融機関の業界保護が必要。』や『金融機関の今回の締め付けは国策か?とってしまう程、厳しい。「サラ金と共に消えぬ」か。』といった意見にあるように、パチンコ業界に対する金融機関の対応に危機感を募らせている。

<主要指標 パチンコ業界全体>

項目	D.I. 値			業界天気		コメント
	前回現状	現状	見通し	現状	見通し	
1. 全般的業況	-24.6	-31.8	-44.7	⇨		全般的業況は雨から雷雨に転落。見通しは数値悪化。
2. 稼働状況 (パチンコ)	4.9	-9.5	-14.3	⇨		現況は曇りで推移。先行き見通しは数値悪化で雨に転落。
3. 稼働状況 (パチスロ)	-50.8	-50.6	-62.4	⇨		現況は引き続き雷雨。先行き見通しも数値悪化で雷雨。
4. 資本投入気運の変化 (台)	-14.6	-6.0	-19.4	⇨		現況は雨から曇りに改善。見通しは、再び雨に。
5. 資本投入気運の変化 (設備)	-12.5	-26.9	-28.4	⇨		現況は雨を維持も数値悪化。見通しはさらに数値を下げる。
6. 営業用設備の不足感	-1.6	-2.4	3.5	⇨		設備不足感は横ばい。見通しも小康状態を保つ。
7. 雇用人員の不足感	37.7	35.3	41.2	⇨		人材不足感はまだ高い。見通しはやや数値上昇。

注：前回現状は2007年9月調査時の結果

天気記号使用基準

記号	数値	記号	数値
晴れ	30.0~	雨	-29.9~-10.0
薄曇り	10.0~29.9	雷雨	~-30.0
曇り	-9.9~-9.9		

全般的概要－業況

■ 業況判断DI値はマイナス31.8と更に後退

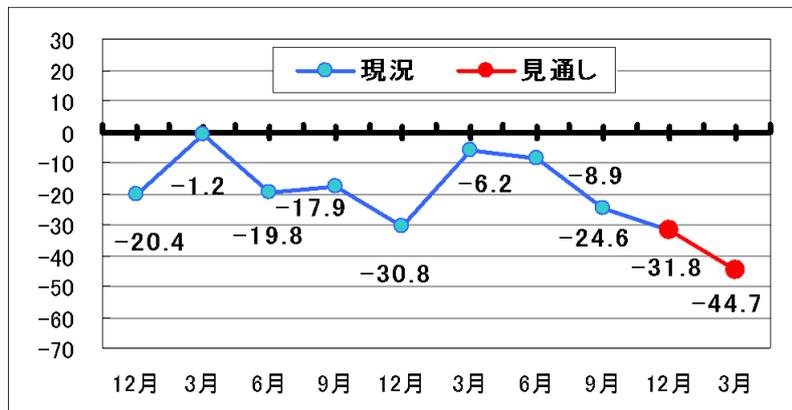
現況(平成19年12月の業況判断)は「良い」が5.7ポイント増加して10.6%となり、「悪い」が12.9ポイント上昇して42.4%となり、DI指数はマイナス31.8と前回のマイナス24.6から、7.2ポイントの悪化となった。調査開始以来最低であった前9月期の数値を更新した。

見通し(3ヶ月後)については、マイナス44.7と先行きへの不安を尚残している。

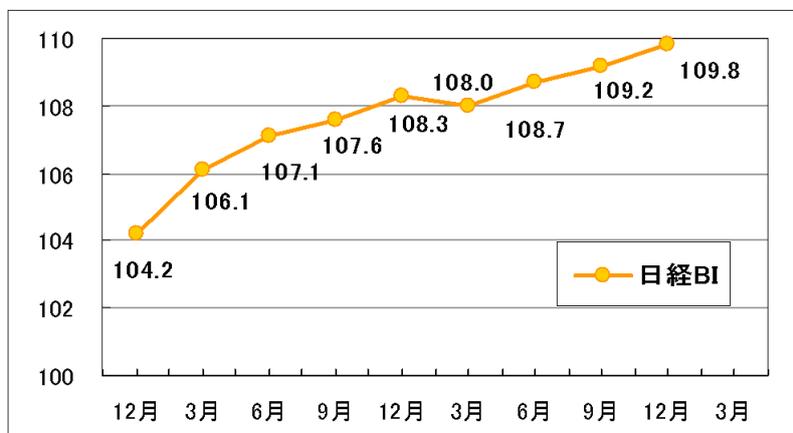
代表的な民間の景気動向指数である「日経BI」10月速報値は109.8(2000年平均=100)と前月を0.4ポイント上回った。

10月は構成4指標のうち需要動向を示す商業販売額は、卸売業、小売業ともに販売額が増え、前月を8.5%上回った。鉱工業生産は、前月比1.6%増と2カ月ぶりに上昇した。サラリーマンの所得変動を表す所定外労働時間(残業時間)は、前月を0.5%下回った。

<現況の推移と見通し>



<日経景気インデックスデータ(日系BI)>



※インデックスデータは、1-3月の平均を3月に示した。直近の12月は710速報値。

日経景気インデックス(日経BI)

景気動向を反映する生産、需要、所得、労働の4つの側面を代表する指標(鉱工業生産、商業販売額、所定外労働時間、有効求人倍率)から共通する「景気の波」を抽出したもの。「景気」そのものの変化方向と水準を表す。構成要素の4指標はすべて翌月末までに公表されるため速報性に優れている。
BIはビジネス・インデックス(Business Index)の略。(2000年平均=100)

全般的概況－判断理由と経営上の課題

■ 業況が悪い理由で『顧客単価の上昇』も浮上

業況判断を「悪い」(42.4%)と下した理由は、『来店客数の減少』(56.3%)、『顧客単価の減少』(21.9%)などが上位を占めている。

『顧客単価の上昇』は、前9月期の5.9%より3.5ポイント上昇し9.4%となっている。来店客が減る中、『顧客単価の減少』に加えて『顧客単価の上昇』も、幅広いお客様から適正利益を得るという観点からも、危険な状況と受け止められていることを示している。

■ 『組合の自主規制』が上昇、『資金調達』は下げ

経営上の問題点で、全体で前回より回答率が上昇したのは『組合の自主規制』(11.6%:11.6ポイント上昇)となっている。広告規制等の厳格化などが影響しているものと思われる。

事業者の規模別にみると、小規模事業者では、『人材不足・人材確保』(39.1%)で17.7ポイント上昇している。大・中規模事業者では『資金調達』、や『設備・運営費の増加』がそれぞれ下げている。

<経営上の課題>

項目	全体 (6月)	全体 (9月)	全体 (12月)	小規模 事業者	中規模 事業者	大規模 事業者
人材教育・育成	53.3%	43.8%	47.8%	52.2%	43.8%	50.0%
他の同業他社との競争激化	62.2%	39.6%	42.0%	39.1%	46.9%	35.7%
人材不足・人材確保	35.6%	39.6%	37.7%	39.1%	31.3%	50.0%
設備・運営費の増加	37.8%	35.4%	26.1%	21.7%	25.0%	35.7%
資金調達	26.7%	35.4%	26.1%	39.1%	15.6%	28.6%
公的な規制	20.0%	27.1%	24.6%	21.7%	25.0%	28.6%
不明瞭な行政指導	28.9%	25.0%	21.7%	21.7%	25.0%	14.3%
人件費の増加	13.3%	18.8%	11.6%	4.3%	15.6%	14.3%
組合の自主規制	0.0%	0.0%	11.6%	4.3%	21.9%	0.0%
時間帯・曜日などの客の偏り	6.7%	4.2%	10.1%	17.4%	9.4%	0.0%
料金改定が困難	4.4%	4.2%	4.3%	0.0%	9.4%	0.0%

全般的概要—稼動状況

■ パチンコ現況は3期連続の悪化、中、小規模事業者で下げ

現況の稼動状況はマイナス9.5と、前回の4.9から14.4ポイントの悪化となった。3月期をピークに、3期連続しての悪化となっている。

見通し(3カ月後)はマイナス14.3となっており、先行きへの不透明感を残している。

現況の稼働状況を規模別にみると、小規模事業者(1~3店保有)がマイナス40.9、中規模事業者(4~10店舗)がマイナス20.6、大規模事業者(11店舗以上保有)が28.6となっている。

前9月期と比べると、小規模事業者は26.6ポイントの悪化、中規模事業者は25.1ポイントの悪化、大規模事業者は12.6ポイントの改善となっている。

先行き見通しについては、大規模事業者で悪化、中・小模事業者でやや改善となっている。

■ パチスロ現況は完全5号機移行後も横ばい、見通しには厳しさ

現況の稼動状況は、マイナス50.6と、前回のマイナス50.8からほぼ横ばいとなっている。

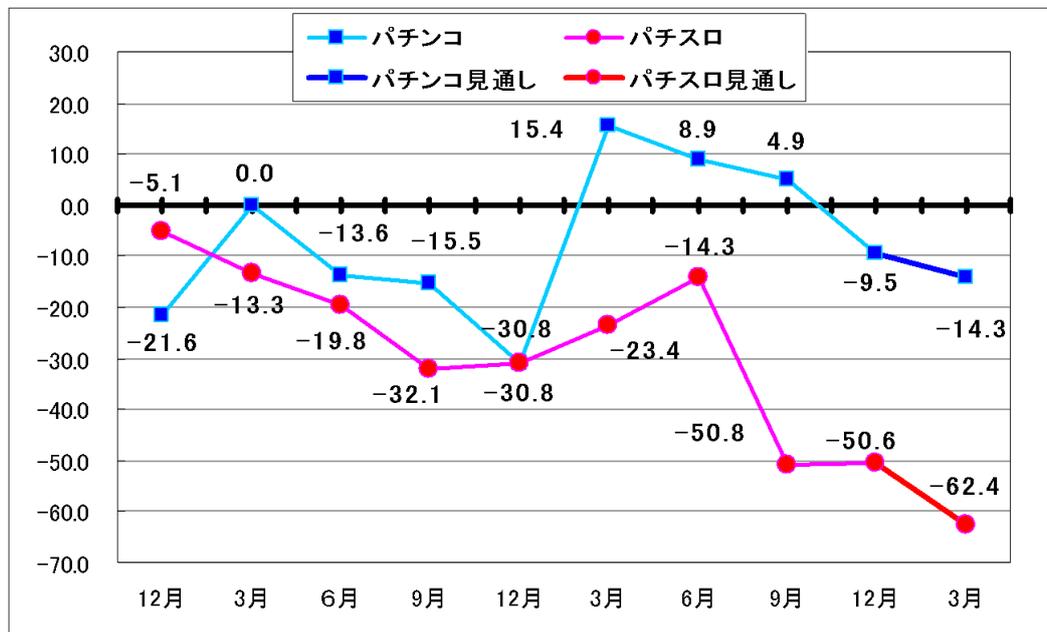
見通し(3ヶ月後)は、マイナス62.4と、さらに厳しいものとなっている。

現況の稼働状況を規模別にみると、小規模事業者(1~3店保有)がマイナス56.5、中規模事業者(4~10店舗)がマイナス76.5、大規模事業者(11店舗以上保有)がマイナス14.3となっている。

前9月期と比べると、小規模事業者は6.5ポイントの悪化、中規模事業者は8.3ポイントの悪化、大規模事業者は21.7ポイントの改善となっている。

先行き見通しについては、各規模事業者ともに厳しい数値を予測。小規模事業者ではマイナス73.9、中規模事業者ではマイナス67.6、大規模事業者もマイナス46.4と厳しい見通しとなっている。

<稼動状況の推移と見通し(パチンコとパチスロ)>



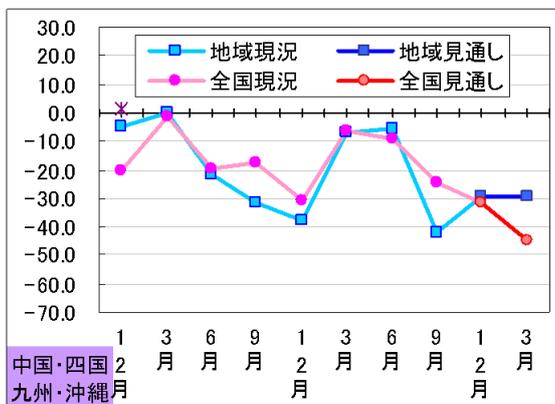
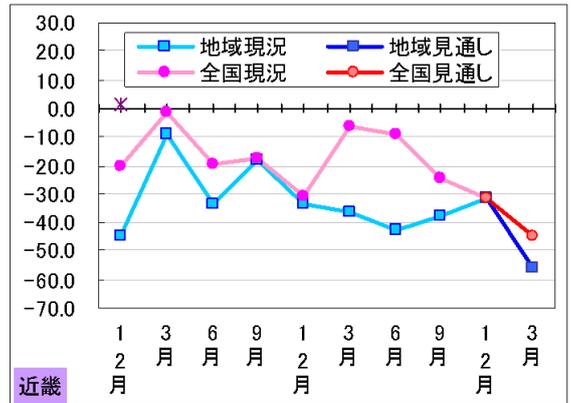
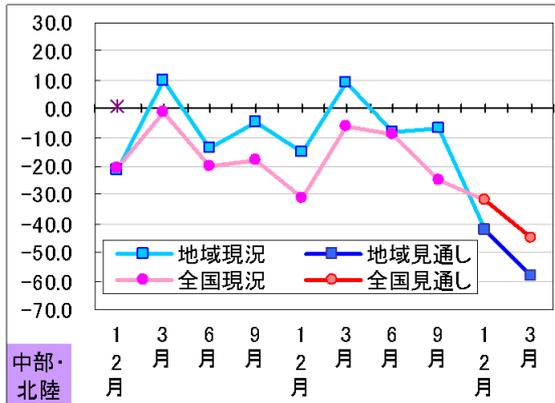
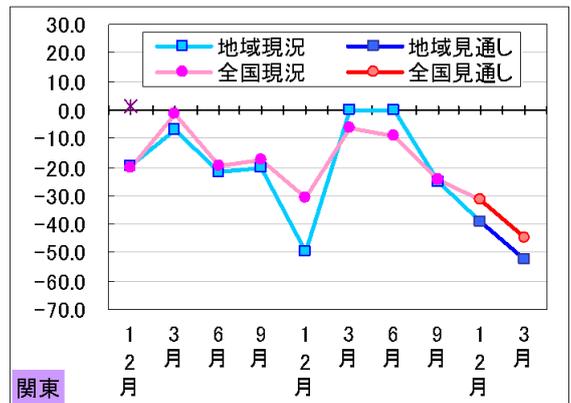
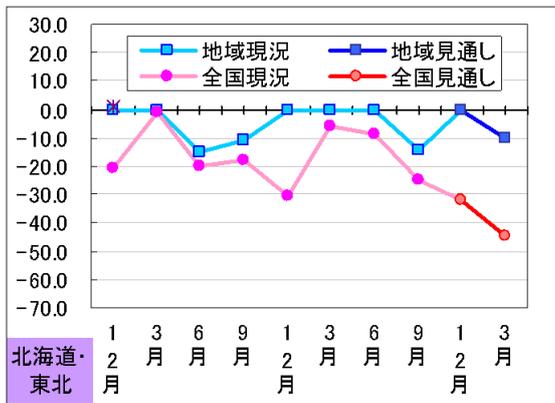
地域別の業況

■ 現況は北海道・東北除きマイナス、改善見通しの地域なし

現況のDI値は、±0の「北海道・東北」を除いて、マイナス30からマイナス40の範囲に集中。

見通し(3ヶ月後)については、地域によって差はあるものの、全てマイナス2桁台の数値となっている。「関東」、「中部・北陸」、「近畿」では、現況より10から25ポイント下げ、マイナス50を超える。

<地域別 業況>



規模別業況

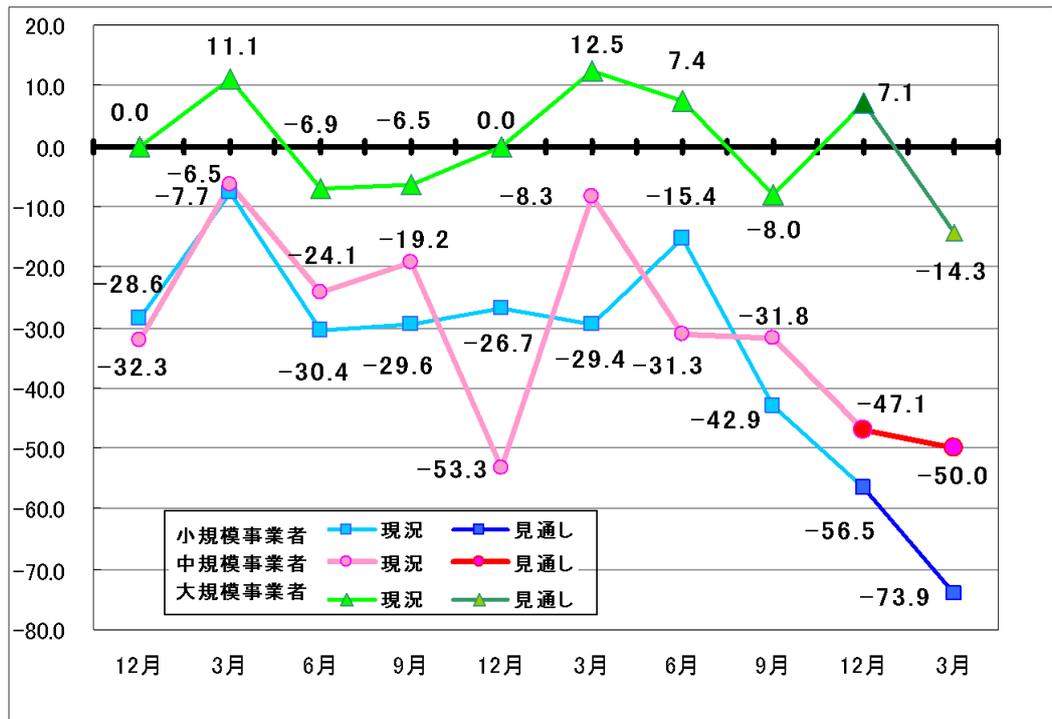
■ 中小規模事業者で現況大きく悪化、見通しは各規模で悪化

現況の業況判断を規模別にみると、小規模事業者でDI値マイナス56.5と前回から13.6ポイントの悪化。中規模事業者でDI値マイナス47.1と前回から15.3ポイントの悪化。大規模事業者はDI値7.1と前回から15.1ポイントの改善となっている。

見通し(3ヶ月後)では、大規模事業者(マイナス14.3)、中規模事業者(マイナス50.0)、小規模事業者(マイナス73.9)と、各規模事業者ともに現況より悪い数値となっている。

中でも小規模事業者は、見通しのDI値が73.9と、非常にネガティブな数値となっている。

<規模別：業況の推移と見通し>



注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上

パチンコ業界の全般的業況「底打ち」時期

■ 時期では「09年以降」がトップ。08年中の「底打ち」は4割

ここ数年厳しい状況が続いているパチンコ業界の全般的な業況について、『底を打つ』のはいつ頃かを聞いた結果、全体では「09年以降」が27.9%で最も多くなっている。07年中の合計は4.9%、08年中の合計は40.9%となっている。

大規模事業者では、「08年1-3月」との回答が23.1%と中・小規模事業者よりも高くなっている。一方で、「09年以降」との回答も30.8%と高くなっている。

■ 時期特定できず、「ある条件が整ったとき」との回答多い

「底打ち」時期について、時期を特定せず、「ある条件が整ったとき」との回答が全体で26.2%となっている。中・小規模事業者では、約3割が回答している。

具体的なコメントとしては、以下のようなものが挙げられている。

- * 実質遊技人口（約900～1,000万人）と遊技台（300～350万台＝約8,000～9,000店）のバランスが取れるとき。
- * パチスロ営業が回復するようなマシンの許可及び市場展開がされたとき。
- * 景気自体の回復。物価上昇が一段落し、それに順応した生活が浸透したとき。
- * 店舗の淘汰が進み、機械代が安価になった時。人口減少社会を迎え、しばらくは厳しい。
- * 行政の規制の緩和。陳情書に多少の期待。

<業界全体が「底を打つ」時期>

時期	全体	小規模事業者	中規模事業者	大規模事業者
07年6月以前	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
07年7-9月	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
07年10-12月	4.9%	9.5%	0.0%	7.7%
08年1-3月	9.8%	14.3%	0.0%	23.1%
08年4-6月	11.5%	19.0%	11.1%	0.0%
08年7-9月	9.8%	0.0%	18.5%	7.7%
08年10-12月	9.8%	4.8%	11.1%	15.4%
09年以降	27.9%	23.8%	29.6%	30.8%
ある条件が整ったとき	26.2%	28.6%	29.6%	15.4%

注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上

<自社営業地域が「底を打つ」時期>

項目	北海道・東北	関東	中部・北陸	近畿	中国・四国・九州・沖縄
07年中	14.3%	15.0%	0.0%	13.3%	8.3%
08年中	85.7%	25.0%	61.5%	46.7%	25.0%
09年以降	0.0%	40.0%	15.4%	13.3%	33.3%
ある条件が整ったとき	0.0%	20.0%	23.1%	26.7%	33.3%

調査結果概要 DATA

■規模（店舗数）別

項目	DI 値区分	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者		
		前回	現状	見通し	前回	現状	見通し	前回	現状	見通し
1. 全般的業況		-42.9	-56.5	-73.9	-31.8	-47.1	-50.0	-8.0	7.1	-14.3
2. 稼働状況（パチンコ）		-14.3	-40.9	-31.8	4.5	-20.6	-11.8	16.0	28.6	-3.6
3. 稼働状況（パチスロ）		-50.0	-56.5	-73.9	-68.2	-76.5	-67.6	-36.0	-14.3	-46.4
4. 資本投入気運の変化（台）		7.1	-8.7	-21.7	-14.3	3.2	-9.7	-38.5	-23.1	-23.1
5. 資本投入機運の変化（設備）		-21.4	-34.8	-34.8	-19.0	-29.0	-29.0	7.7	-7.7	-15.4
6. 営業用設備の不足感		-7.1	4.3	0.0	4.5	-2.9	2.9	-4.0	-7.1	7.1
7. 雇用人員の不足感		42.9	17.4	21.7	31.8	26.5	35.3	40.0	60.7	64.3

注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上

■地域別

項目	DI 値区分	北海道・東北			関東			中部・北陸		
		前回	現状	見通し	前回	現状	見通し	前回	現状	見通し
1. 全般的業況		-14.3	0.0	-10.0	-25.0	-39.1	-52.2	-7.1	-42.1	-57.9
2. 稼働状況（パチンコ）		14.3	30.0	20.0	15.0	-13.6	-18.2	7.1	-5.3	-15.8
3. 稼働状況（パチスロ）		42.9	-20.0	-60.0	60.0	-73.9	-78.3	42.9	-42.1	-47.4
4. 営業用設備の不足感		0.0	-20.0	-10.0	0.0	0.0	13.0	-21.4	-5.3	-5.3
5. 雇用人員の不足感		28.6	40.0	50.0	50.0	47.8	52.2	42.9	26.3	36.8
項目	DI 値区分	近畿			中国・四国・九州・沖縄			営業用設備の不足感、雇用人員の不足感が強いほどに設備投入機運の採用、活用に結びつくものであり、業況は改善に向かうものと判断される		
		前回	現状	見通し	前回	現状	見通し			
1. 全般的業況		-37.5	-31.3	-56.3	-41.7	-29.4	-29.4			
2. 稼働状況（パチンコ）		-25.0	-18.8	-6.3	0.0	-23.5	-35.3			
3. 稼働状況（パチスロ）		50.0	-56.3	-68.8	50.0	-41.2	-52.9			
4. 営業用設備の不足感		0.0	6.3	0.0	16.7	0.0	-11.8			
5. 雇用人員の不足感		12.5	37.5	37.5	33.3	23.5	-29.4			

■資金繰り等の現況推移

項目	対象時期	パチンコ業界全体			小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者		
		6月調査	9月調査	12月調査	6月調査	9月調査	12月調査	6月調査	9月調査	12月調査	6月調査	9月調査	12月調査
資金繰り		-15.8	-22.9	-29.4	-28.6	-50.0	-56.5	-16.7	-23.8	-22.6	16.7	7.7	0.0
貸出態度		-35.9	-50.0	-29.4	-35.7	-64.3	-39.1	-33.3	-47.6	-32.3	-42.9	-38.5	-7.1
借入金利		-23.1	-19.6	-16.7	-14.3	-7.1	-9.1	-33.3	-21.1	-22.6	-14.3	-30.8	-15.4

注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上

SERVICE

提供商品

Entertainment Business Institute



基礎研究・応用研究

コンサルティング・講演・勉強会

- ・経営支援・人材育成・店舗運営・事業企画・開発

パーラー向け会員サービス「Aclub」

- ・電子メール、FAX 情報提供・会員限定勉強会

出版・研究報告書

- ・パチンコ参加実態調査
- ・駅別乗降者数総覧<年刊>
- ・研究報告書、関連書籍

インターネット・システム構築

- ・社内ネットワーク設計
- ・ホームページ制作、運用支援

カジノ関連

- ・UNLVエグゼクティブセミナー
- ・カジノ視察ツアーコーディネート



**Entertainment
Business
Institute**

株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所

<http://www.eb-i.jp>

メール：info@eb-i.jp

電話：03-5688-4751

ファックス：03-5688-5353